

| | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---------|--|-------------------------------|----------|------------------------------|-----|----------------|-----|
| 1. 科目名 (単位数) | 高齢者支援展開論 (2単位) | 3. 科目番号 | SSMP3319 SNMP3319 SCMP3319 SBMP3319 SPMP3319 | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 金 貞任 | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、高齢者に対する面接調査、高齢者支援プラン作成、発表、ディスカッション | 5. 開講学期 | 春期 | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | <p>少子・高齢化の急速な進行に伴い、医療ニーズの高い高齢者と介護を必要とする高齢者の増加、単身世帯と高齢者のみ世帯の増加が今後も予想されている。高齢者が介護や支援を必要とする状態になっても、住み慣れた地域の中で生きがいと尊厳を保ちながら安心して暮らし続けるためには、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供できる地域に密着した包括ケアが必要である。それを実現するためには、高齢者個々人のニーズに基づいたケアプランと支援が非常に重要である。</p> <p>加齢に伴う慢性疾病や ADL・IADL の低下、認知症等、リスクの高低にかかわらず高齢者が住み慣れたコミュニティで生活するために、高齢者の身体的・精神的状態の改善や維持、家族介護者の負担の軽減が必要である。</p> <p>本講義では、高齢者が住み慣れた地域で住み続けることを支援するために、コミュニティ独自のサービスと介護サービスを組み合わせたきめ細かいケアプラン作成など多方面の角度から高齢者支援プランを作成する。</p> | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者支援計画の背景と目的、意義を理解する。 2. 在宅サービスの種類と要介護度に応じた支援プランを作成するために、必要な情報とは何かを把握する。 3. 市町村独自の高齢者支援政策について調査し、長所と短所を理解する。 4. 介護と医療の連携が必要な理由について調査する。 5. 支援が必要な高齢者が地域で生活するために、どのような支援プランが必要であるか調べる。 6. 介護支援専門員と同じレベルの高齢者支援プランの作成を目指す。 | | | | | | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う要介護高齢者の身体的・精神的状況と経済的状況などのニーズを把握するために、在宅で居住している高齢者に対する現地調査を行います。 2. 1に基づき、要介護高齢者が住み馴れた地域や在宅で生活が可能な高齢者支援計画を作成します。(家族介護者がいる場合は、家族介護者の介護負担の軽減を目指します) 3. 要介護高齢者の身体的・精神的状態のニーズに基づき、高齢者支援計画書を作成し、ディスカッションとコメントを参考にその事例に最も適切な支援プランを作成します。 | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 *適宜授業中にプリントなどを配布する。</p> <p>【参考書】 NPO 法人千葉県介護支援専門員協議会『五訂 介護支援専門員のためのケアプラン作成事例集』中央法規。 東京福祉大学『新・社会福祉要説』中央法規。 ケアプラン点検支援マニュアル活用の手引編集委員会『介護保険ケアプラン点検支援マニュアル活用の手引』白澤政和編・著『介護支援専門員のためのケアプラン作成講座』シルバー新報/環境新聞社。</p> | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 要介護高齢者のニーズの発見が可能であるか。 2. 要介護高齢者のニーズに基づき個人支援プランの作成が可能であるか。 3. 介護サービスの種類を理解し、個人支援プランの作成の時に応用可能であるか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加度 (ディスカッション、質問など)</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. グループレポート (アサイメント (宿題) 含む)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>3. 個人レポート発表と提出</td> <td>30%</td> </tr> </table> | | | 1. 授業への積極的参加度 (ディスカッション、質問など) | 総合点の 30% | 2. グループレポート (アサイメント (宿題) 含む) | 40% | 3. 個人レポート発表と提出 | 30% |
| 1. 授業への積極的参加度 (ディスカッション、質問など) | 総合点の 30% | | | | | | | | |
| 2. グループレポート (アサイメント (宿題) 含む) | 40% | | | | | | | | |
| 3. 個人レポート発表と提出 | 30% | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p><受講生に期待される学習態度></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者のニーズに基づいた適切な支援とは何かについて、常に考え実践することを望みます。 2. 宿題と発表は、学生の義務であり、必ず守って下さい。 3. 授業には自分なりの問題意識を持って、積極的な態度で参加することを望みます。 4. 理解できないことや疑問点がある場合は、必ず質問してください。質問することは、学んでいる者にとって決して恥ずかしいことではありません。 5. 授業中に他人の発表や質問の時は、静かに傾聴してください。 6. 授業は、正当な理由がない限り欠席・遅刻・早退をしないでください。 7. 発表とレポート等の提出期限を厳守してください。発表とレポート提出期限を守らない場合は、正当な理由がない限り減点になります。 8. 授業中の私語、居眠り、携帯電話の作動、飲食等、学習活動を妨げる行為は厳禁とします。 | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 別途通知する。 | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | |
| 第 1 回 | 講義概要についてシラバスを中心に説明 | 事前学習 | 高齢者支援展開論の学習ノートを準備し、講義に臨む。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 要介護高齢者に必要なサポートについて図 | | | | | | |

| | | | |
|------|--|------|--|
| | | | 書館で調べる |
| 第2回 | 介護保険制度の現状と問題点 (DVD) | 事前学習 | 介護保険制度の概要、特に要介護度と介護サービスの種類をインターネットなどで調べ、ノートにまとめる。 |
| | | 事後学習 | 介護サービスの現状と問題点、ケアマネジメントの現状と改善策を考える。 |
| 第3回 | ICF とは何か 高齢者に対するケアプランの記載内容の検討：ADL, IADL, 認知症のチェック項目を理解、ケアプランの標本様式と記載内容の把握 (1章) http://www.oushin-sendai.jp/download/pdf/c03/research/24-1.pdf | 事前学習 | ICF の考え方と高齢者を支援するためにチェックすべき項目とは何かについて、インターネットなどで調べてノートにまとめる。 |
| | | 事後学習 | 居宅サービス計画書と施設サービス計画書が違う理由について考える。 |
| 第4回 | 配偶者を亡くした独居高齢者への支援の検討、ディスカッション・発表 (グループ作業) | 事前学習 | 配偶者を亡くした独居高齢者のニーズとは何かを調べノートにまとめる (社会福祉協議会訪問) |
| | | 事後学習 | 居宅支援計画書の短所と長所を把握し、サービス計画書の短所の改善策を作成する。(グループ作業) |
| 第5回 | 配偶者を亡くした独居高齢者の支援計画書の発表 (グループ) 子ども家族と同居の要介護高齢者のニーズと対応 | 事前学習 | 子ども家族と同居する要介護者のニーズとは何かをノートにまとめる。(デイサービス事業所などでリサーチ) |
| | | 事後学習 | 子どもと同居の要介護高齢者の長所と短所を把握する。(グループ作業) |
| 第6回 | 介護支援専門員による授業、又は、事例紹介 | 事前学習 | 介護支援専門員とケアマネジメントの定義、介護支援専門員の課題とは何かについてノートに整理する。(介護支援事業所などでリサーチ) |
| | | 事後学習 | 介護支援専門員は、利用者の利益のためにどのような観点から計画書を書いているかを発見する。サービス計画書の課題を完成する (グループ作業) |
| 第7回 | サービス計画書の発表 (グループ作業) 老人保健施設退所の事例の検討、ディスカッション | 事前学習 | 老人保健施設の定義、現状と課題を調べノートにまとめる。(老人保健施設リサーチ) |
| | | 事後学習 | 老人保健施設退所の高齢者が自宅で生活するためのサービス計画書の完成 (グループ作業) |
| 第8回 | 老人保健施設退所の事例のサービス計画書の発表 (グループ) 介護と医療の連携が必要な事例の検討、ディスカッション | 事前学習 | 多職種連携の定義、必要な理由、長所と短所を調べノートにまとめる。(医療機関のソーシャルワーカーをリサーチ) |
| | | 事後学習 | 介護と医療を連携する時、課題を解決する方法をノートでまとめる。 |
| 第9回 | 支援が必要な高齢者に対するインタビュー調査のための質問項目の作成と完成：グループ作業 | 事前学習 | 要介護高齢者のニーズを把握するための質問項目の内容をノートにまとめる。 |
| | | 事後学習 | インタビュー調査の項目の完成 |
| 第10回 | 支援が必要な高齢者へのインタビュー調査； 現地調査 (個人作業) | 事前学習 | インタビュー調査の練習 (グループ作業) |
| | | 事後学習 | インタビュー調査の結果をまとめる (個人作業) 発表レジュメをコピーする |
| 第11回 | 高齢者のニーズの発見とアセスメント、支援計画書の作成と発表：個人発表 | 事前学習 | インタビュー調査の発表の練習をする (個人作業) 配布コピーを用意する。 |
| | | 事後学習 | 発表内容の長所・短所を把握し、短所を改善する |
| 第12回 | 高齢者のニーズの発見とアセスメント、支援計画書の作成と発表：個人発表 | 事前学習 | インタビュー調査の発表の練習をする (個人作業) 配布コピーを用意する。 |
| | | 事後学習 | 発表内容の長所・短所を把握し、短所を改善する |
| 第13回 | ターミナル事例の検討、ディスカッション (DVD)、支援計画書作成 | 事前学習 | ターミナルケアとは何か、どのような支援が必要であるかを調べる。(特別養護老人ホームのリサーチ) |
| | | 事後学習 | ターミナル状態の高齢者の支援計画書を完成する。 |
| 第14回 | 虐待事例の検討・ディスカッション、支援計画書の作成 | 事前学習 | 新聞やメディアを利用し、虐待事例を調べノ |

| | | | |
|------|-----------------------------------|------|--|
| | | | ートにまとめる |
| | | 事後学習 | 虐待事例の支援計画書を完成する。 発表レジユメを準備する。(個人発表) |
| 第15回 | 虐待事例の支援計画書の発表、ディスカッション、まとめ、レポート提出 | 事前学習 | 虐待事例の計画書の発表練習をする。(個人発表) |
| | | 事後学習 | 要介護高齢者の支援計画書を提出する。 |